

総合的な 自転車交通政策の確立を



野見山修吉(みどりの風)

①(ア)高架下への駐輪場確保
や自転車の安全利用などの総合的政策のために駅周辺の交通調査を。(イ)レンタサイクルの利用者の把握を。(ウ)自転車交通の全体的構想を。(エ)自転車安全マップの全戸配布を。
都市整備部長 (ア)駐輪場の整備計画は早急に作りこんで

解は。(イ)市内の帰国者の把握と支援策の広報を。(ウ)支援のガイドラインを作成し、帰国者が安心できる窓口を。
市長 (ア)私自身引き揚げてきた。戦争の責任は国にあり国が支援するのは当然。市長会での緊急要望を実現したい。

福祉保健部長 (イ)把握に努め、個別周知や市報での周知

②敗戦の混乱の中で中国に残留された方々は、帰国された後も生活や言語などで大変な苦労され、これに対し新たな支援策が出た。(ア)市長の見

市民から求められる 図書館の充実のために



水上洋志(日本共産党)

次期基本計画で、新しい図書館建設が予定されている。(ア)今後の図書館のあり方について、「6館構想」や数値目標も示した図書館運営方針が基本方針と考えるがどうか。(イ)民間委託化などについて、管理運営の検討以前に図書館を充実させる方針の明確化が必要

図書が補助員の充実に要望するがどうか。
図書館長 (ア)図書館運営方針が基本方針である。(イ)委託等の検討の際は図書館協議会に諮り意見をいただいていく。

学校教育部長 (ウ)学校図書

その他に、交通バリアフリー計画策定について、障害者の権利を保障するため交通事業者の対応などソフト面の充実と今後の実施にあたっての検証について質問しました。

精神障がい者の 福祉施策の拡充を



板倉真也(日本共産党)

(ア)新体系に移った事業所・共同作業所への家賃補助、利用料金の助成を。(イ)グループホームへの配食サービス実施を。(ウ)ショートステイ及び授産施設の確立を。(エ)都立府中病院の独立行政法人化の動きに対して、都立病院として存続させるために行動を。

福祉保健部長 (ア)家賃助成は、各団体と相談しながら検討させていただきたい。利用料金は、利用者負担の減額の暫定措置が09年度以降も継続する方向が出ているので、国の動向を見守らせていただきたい。(ウ)授産施設について、市内の共同作業所は福祉的就労の場を提供している事業が

多い。新体系移行時に事業選択をしてもらえよう、事業者と協議をしていきたい。
障害福祉課長 (イ)配食サービスは、食の自立と見守りという形で事業展開しており、グループホームでの配食サービスは適当にくい事業体系になっている。研究していきたい。(ウ)ショートステイについて、どういう形で実現できるかを考えているところ。
市長 (エ)独立行政法人になるというような話は、私のところには来ていない。



高架下に駐輪場確保のためにも調査を

温暖化防止のため 緑のカーテンの普及を



和田茂雄(公明党)

①地球温暖化防止のために緑のカーテンを普及すべしだ。ヘチマ、ゴーヤ、アサガオなどをプランターに植え、暑い夏には、これらが緑のカーテンとなって、建物内の室温を下げ、エアコン不要となる。公共施設から商店会などにも普及を図ってはどうか。

環境部長 地球温暖化対策実行計画の地域版を作つて、関係各課と調整していきたい。

②市税賦課徴収条例に市民税、たばこ税、固定資産税、都市計画税、国民健康保険税が一緒になって改正につぐ改正でわかりにくい。もっと市民にもわかりやすい条例構成にすべきだ。

「マイ箸」のすすめ



達磨百合子(自由民主党)

①京都議定書に基づき、温室効果ガス排出量の削減が求められている。身近にできることから始め、地球温暖化の危機意識を再認識する必要がある。(ア)マイバッグ持参運動の更なる推進を。(イ)「マイ箸」運動を強く進めるには。(ウ)電球形蛍光灯などエコ製品を買

②アダプトプログラムの導入に向け成功させるための見直し。
企画財政部長 小金井市アダプトプログラム制度検討会議を庁内に設置し、来年度実施に向け要綱等の具体的事項について検討を進めている。

③道路での児童の下课時間帯表示が現状と合っていない時がある。週休2日制で時間割が変更になっている。道路表示を下课時に合わせないか。
学校教育部長 検討したい。

放課後の子どもたちの 安全確保のために



五十嵐京子(改革連合)

現在9つの学童保育所の中ので7か所で定員以上の申請がある。全国的な傾向で、背景に働く親の増加と子どもたちの安全を求めていると思われる。今年度から放課後子どもプラン事業が始まった。(ア)放課後という平日のことになるが、現在平日の活動状況は、

(イ)この事業のポイントは学校の中での場所確保である。どの程度できているか。(ウ)事業に名称をつけ、昔の遊びを取り入れる等ボランティア確保の工夫をすべき。(エ)全校での実施を目指して体制作りを急ぐべき。(オ)児童館を担当する児童青少年課との連携は。

生涯学習課長 (ア)本町小学校で11月から週1日、他に2校で校庭開放を実施。(イ)本町小学校以外には場所がないとの調査結果である。(ウ)名称は工夫の余地がある。今年度学芸大や他市と共同でボランティア講座を開設した。(エ)可能なところからやりたい。
学校教育部長 (イ)本町小学校から広がると考えている。
教育長 (イ)再度校長に説明し、広がるよう頑張りたい。
児童青少年課長 (オ)連携を密にし、円滑な運営をしていきたい。



携帯する「マイ箸」の一例